



# 「0からスタート！」 の2年目

大きな学校と小さな園との  
豊かな学びを考える

箕輪地区

- ◆テンダーラビング保育園
- ◆にじいろ保育園日吉
- ◆アスク日吉東保育園
- ◆グローバルキッズ綱島園
- ◆キッズパートナー綱島東
- ◆木下の保育園綱島東
- ◇小学館アカデミーひよし保育園
- ◆箕輪小学校



## 推進テーマ設定の理由

本校は過大規模校であり、未就学児の実態は様々である。本校にとっては、これから入学してくる子どもたちのことを深く理解していくことが大変重要になるので、特別のことはできないが、本事業を通して幼保小の連携を密にしていきたいと考えている。

## 推進内容

- ・小学生と園児が一緒に活動する機会を通して、お互いに成長することへの期待や喜びを共有できる交流を目指す。
- ・小さな一歩を大切に育てながら持続可能な交流を考える。

## 今年度の重点課題 ～今年度力を入れたこと～

- ・職員同士の理解を深める機会を大切にするとともに、1年生だけでなく他学年との交流を増やしていく。
- ・取組の2年目なので、地域、保護者への周知と理解を深めてもらえるようにする。

## 連携推進事業の実際

- ◇園長校長顔合わせ 4 / 25
- ◇まちとともに歩む学校づくり懇話会 5 / 13 2 / 10
- ◇杉山兄弟によるシャボン玉ショー 5 / 22
- ◇初任者（4名）の保育園体験 8 / 21・23
- ◇学校と園の職員打ち合わせ 7 / 24
- ◇「大人と子供のための読み聞かせの会」と顔合わせの会 11 / 19
- ◇「あきのみのおフェスティバル」(生活科「あきといっしょに」)12 / 6





「しゃぼんだまダイナミックパーク」  
(生活科：なつとともだち)

5.22  
杉山兄弟によるシャボン玉ショー

6.24  
にじいろ保育園とのシャボン玉交流会

◇シャボン玉交流会では、にじいろ保育園の子たちと一緒に進んでシャボン玉をつくる姿が見られた。どうしたら、大きくこわれにくいシャボン玉になるのかを嬉しそうに語る姿が見られた。





## まちとともに歩む学校づくり懇話会

2023.6.6

保育園の園長先生も参加し、地域の方々に幼保小連携推進地区事業について今年も説明し、応援していただくようお願いしました。



今回の実習を通して、子どもたちの発達段階に合わせた学習や支援をしていることが分かりました。私は、年長クラスに参加していましたが、算数の基礎的な学習や、給食や片付けなどの日常的に必要なことなど、小学校に向けて様々な工夫や手立てがされていました。特に子どもたちが遊びの中から学習に繋げている姿を見て、小学校の授業でもその姿を大事にしていきたいと思いました。

今回の保育園実習で、子どもたちとの日常的なコミュニケーションを通じて、個々の発達段階や興味に応じた支援の方法を学びました。特に、遊びを通じての学びの重要性を感じ、小学校での指導に生かせる工夫を考えるきっかけになりました。



## 初任者の感想

年長クラスで半日実習をさせていただきました。想像以上に子どもたちの出来ることが多く、自分たちで進んで動く姿に驚きました。教師として、わかりやすく物事を伝え、挑戦できる機会を増やしていくことで子どもたち一人ひとりの得意なことや可能性を広げていきたいと感じました。

今回の実習に参加させていただき、幼児の発達段階に応じた関わり方の重要性を実感しました。小学生よりも自己表現が未熟な園児には、丁寧な観察と柔軟な対応が必要でした。

また、遊びの中で社会性を学ぶ姿を見て、自由遊びの重要性を再認識しました。園児の小さな成長に寄り添う保育の姿勢から、学びの土台作りの大切さを学びました。





## 大人と子供のための読み聞かせの会

今年も女優、中井貴恵さんによる「はだかの王様」の読み聞かせを1年生、個別支援学級と園児、保護者と一緒に鑑賞しました。終了後には、クラスに分かれて顔合わせの会をしました。



## 顔合わせの会

◇クラスごとにペアの園を決め、顔合わせの会を行った。クラスごとに決めた歌やゲームなどを各教室で一緒に楽しんで、「あきまつり」の招待状カードを渡した。

◇自分から園児に優しく「一緒にやろう。」「また来てね。」と声をかける姿がみられた。







## あきのみのお フェスティバル

2024.12.6

### 振り返り

- ・年長さんと遊べて楽しかった。  
また一緒に遊びたい。
- ・自分のどんぐりめいろでいっぱい遊んでくれて嬉しかった。
- ・音楽に合わせてマラカスをならしてくれて嬉しかった。





## 他学年への交流の広がり

今年度は、生活科や総合的な学習の時間を中心に学習の中で保育園との交流が広がってきました。

### 16組「大さいがいサバイバル」 ～自分たちにできることはないかな～ (個別支援学級)

#### きっかけ

- ・遊具が楽しくない
- ・避難訓練や災害のことを考えるのが怖い

#### 計画

- ・自分たちでできることを考える
- ・分からないことを本やインターネットで調べる

#### 実践

能登半島地震でのプレイパーク活動を知り、「遊びの力」で災害に向き合う

#### 発展

保育園が同パークに来ていることを知り、作った遊具で遊んでもらいたい



「みのわわくわく大作戦～3年6組 たこやきランド～」  
(総合的な学習の時間)

身の回りの課題  
箕輪小は、遊ぶ場所が少ない。

手作り遊びを作って、教室で  
楽しい時間を過ごしたい。

自分たちだけでなく  
1・2年生  
保育園や幼稚園の子たちにも遊んで  
もらいたい。

もっと広げたい  
手作りレクグッズの手順書を作って  
配ろう

6年1組 「ボッチャで遊ぼっちゃ！」  
(総合的な学習の時間)

課題  
自分たちがみんなで楽しく遊  
べるものは何かないだろうか。

教室にボッチャが！  
まずはみんなで楽しもう

クラスだけではなく  
・障がいのある方  
・小さい子ども  
・高齢 と一緒にボッチャがしたい

保育園とオウカス日吉の方々  
がボッチャで繋がってほしい  
箕輪小に招待したい(3月)



# 成果と課題

## 成果

- ・まち懇で幼保小連携について説明し地域の理解と協力を得たのはよかった。
- ・クラスごとにペアの園を決めて交流したことで、自分事として交流の内容を考えたり、準備をしたりすることができた。
- ・複数の保育園と交流する事で、それぞれの違いが理解できた。保育園同士の情報交換の場にもなった。
- ・秋の交流は、学年全体の秋祭りに招待する活動だったため7園と日程を調整することが大変だったが、今までにないダイナミックな会になりよかった。
- ・小学校は、1年生以外の学年へと連携の広がりがはじまりよかった。

## 課題

- ・入学してくる園が多いため、秋に、7園以外の保育園から交流したいという話があった。秋祭りには参加してもらったが、飛び入りの園があった場合の交流を今後どうしていくか考えておく必要がある。
- ・小学校と保育園の相互理解を進めていく必要がある。焦らず慌てず互いの教職員が理解を深め、それぞれで生かせるようにしたい。